

卷56

638

鷲鷯小可

替替六甲

三

柳を湯に浸してはく新大納言の衣を

ぬき衣をぬきおのころにけききぬと探

らぬき<sup>下</sup>きぬき<sup>上</sup>ぬき<sup>上</sup>ぬき<sup>上</sup>ぬき<sup>上</sup>

ぬき<sup>上</sup>ぬき<sup>上</sup>ぬき<sup>上</sup>ぬき<sup>上</sup>ぬき<sup>上</sup>

ぬき<sup>上</sup>ぬき<sup>上</sup>ぬき<sup>上</sup>ぬき<sup>上</sup>ぬき<sup>上</sup>

夏古及... 津物... 其の教...

... 下... 何... 其の...

... 所... 色... 其の...

... 其の... 其の...

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



Handwritten text in a cursive script, likely Urdu or Persian, consisting of several lines of text.

۱۷۸۵

Handwritten text in a cursive script, likely Urdu or Persian, consisting of several lines of text.

ト  
、*Handwritten cursive text*、*Handwritten cursive text*、*Handwritten cursive text*

*Handwritten cursive text*



江戸の西へある寺に  
ある鐘の銘に  
平嘉永六年五月廿三日  
御師 蓮 師 宣 宗  
の御願にて  
此鐘を奉りて  
是の鐘を  
此の寺に  
懸け置  
し  
此の鐘の  
銘に  
宣 宗  
の御願  
にて  
此  
鐘  
を  
奉  
り  
て  
是  
の  
鐘  
を  
此  
の  
寺  
に  
懸  
け  
置  
し  
す

宣 宗 宣 宗  
の御願にて  
此鐘を奉りて  
是の鐘を  
此の寺に  
懸け置  
し  
す

宣 宗 宣 宗  
の御願にて  
此鐘を奉りて  
是の鐘を  
此の寺に  
懸け置  
し  
す

宣 宗 宣 宗  
の御願にて  
此鐘を奉りて  
是の鐘を  
此の寺に  
懸け置  
し  
す

宣 宗 宣 宗  
の御願にて  
此鐘を奉りて  
是の鐘を  
此の寺に  
懸け置  
し  
す

宣 宗 宣 宗  
の御願にて  
此鐘を奉りて  
是の鐘を  
此の寺に  
懸け置  
し  
す

七  
上  
新設の海軍省は、海軍の刷新と海軍力の増強を目的として、海軍大臣に大角岑生が任命された。この海軍省は、海軍の刷新と海軍力の増強を目的として、海軍大臣に大角岑生が任命された。この海軍省は、海軍の刷新と海軍力の増強を目的として、海軍大臣に大角岑生が任命された。

上  
海軍省の刷新と海軍力の増強を目的として、海軍大臣に大角岑生が任命された。この海軍省は、海軍の刷新と海軍力の増強を目的として、海軍大臣に大角岑生が任命された。この海軍省は、海軍の刷新と海軍力の増強を目的として、海軍大臣に大角岑生が任命された。

Handwritten text in cursive style, likely a preface or dedication, written vertically from right to left.

明治卅一年四月十日訂正印刷  
同 年四月十九日發行

版權  
所有

東京市赤坂區青山南町五丁目三番地

訂正者 金剛鈴之助

京都市下京區室町通四條上六番戶

訂正者 金剛直喜

京都市上京區二條通御書町一丁目一番戶

發行兼

檜 常之



